

海とにんげん & SOS

2025. 3.31

Vol.48



「ワカメ刈り体験」の様子

春の大潮の日に、磯に出よう！

春の大潮の日に鳥羽市立海の博物館が、地元の浦村地区の漁業協同組合の協力を得て開催している「ワカメ刈り体験」の様子です。

春の磯に出てヒジキやワカメを刈り採る体験は、十数年前から始めました。最初はヒジキだけだったのですが、その後、日を変えてワカメを刈り採る体験も行うようになりました。

潮がひく時間帯に、磯の岩場で膝から腰くらいまで水に浸かり、ヒジキやワカメを力マで刈り採ります。刈り採ったヒジキやワカメは網袋に入れて、博物館まで持ち帰ります。ヒジキは、江戸時代から続く老舗の伊勢市東大淀町のヒジキ屋「北村物産」さんにご協力をいただき、加工場で天日乾燥、保管、水もどし、蒸加工、乾燥、ゴミの排除等の加工をしていただいたうえで、後日、参加者にお届けします。

ワカメ刈り体験は、ワカメの葉だけでなく、メカブ（ワカメの根元部分）も採集できます。刈り採ったものは当日持ち帰ってもらいます。特にワカメ刈り体験では、参加者に「そんなに刈り採ると帰るのがたいへんですよ」と声掛けをさせてもらうことがあります。磯から博物館まで帰るのも大変ですが、自宅に持ち帰ってからの処理も大変なのに・・・と余計な心配をしていますが、珍しさで楽しさからか、ついいたくさん刈り採ってしまうようです。

春の大潮は、写真に見るように潮がよくひくので海藻類が海面上に多く出てきます。またアメフラシ、アオウミウシ、イソギンチャク類、マツバガイ、カメノテなどの磯の生きものたちとの出会いもあり、親子で楽しむことができます。

今年は、最終ページで紹介するように、4月27日（日）に「ワカメ・ヒジキ刈り体験」、5月11日（日）に「ワカメ刈り体験」を開催する予定です。興味がある方は、ぜひご参加ください。

鳥羽市立

 **海の博物館**

公益財団法人 東海水産科学協会

発行日/48号 令和7年3月31日

発行所/〒517-0025

三重県鳥羽市浦村町大吉 1731-68

鳥羽市立 海の博物館・SOS運動本部

TEL 0599 (32) 6006

編集人/平賀 大蔵

印刷所/株式会社アイブレーション

購読料/年間 1500 円 季刊発行送料含

郵便振替口座/00830 6 92330

ホームページ/ <http://www.umihaku.com>